



霞ヶ浦湖上での実験

湖沼の水質保全には、流域住民をはじめ多くの関係者が継続的に取り組むことが必要です。県では森林湖沼環境税を活用し、総合的な水質保全対策を推進しています。

霞ヶ浦湖上体験スクールもその一つで、子どもの頃から水環境に親しみ、その重要性を学ぶため、県内の小中学生を対象に実施しています。昨年度は二百二十六回実施し、延べ七千三百三十三人の児童・生徒が参加しました。

今回の湖上体験スクールには、つくば市立柳橋小学校の四年生と五年生が参加しました。湖上体験は約一時間。遊覧船で土浦港を出港し、霞ヶ浦に関する説明を聞いた後、透明度の測定や簡易水質検査などで実際に霞ヶ浦の水を調べたり、顕微鏡でプランクトンの観察を行いました。霞ヶ浦の流域人口は本県の三分の一

水はすべての生命の源

一口コラム

水不足

人口の急増、産業の発展によって世界規模での水不足が進んでいます。水不足が深刻な食料不足をもたらしている地域も広がっています。現在でも、世界人口の約1/5、12億人が安全な飲料水を確保できていません。2025年には、世界の2/3の人々が水不足になると予測されます。

県環境対策課 029(301)29998 02999

を占めることや、五十年前には湖水浴ができたことを知り、子どもたちは驚いていました。

阿見浄水場では、浄水場の役割についての説明があり、次に霞ヶ浦の水を飲料水にする実験を行いました。その後、浄水場の中央操作室や沈殿池などの施設を見学。最後に、霞ヶ浦の水でつくられた水道水を味わいました。参加した子どもたちは、「霞ヶ浦に来て、水を見たり実験をしたりしてみて、霞ヶ浦や水の大切さが分かった」、「浄水場で水がきれいになる仕組みが見学できて良かった」と元気に話していました。

霞ヶ浦と浄水場、水の流れをめぐる湖上スクールは、身近な水について考える絶好の場となっています。

阿見浄水場



浄水場での見学

緑と水は私たちの大切な宝物 ～森林湖沼環境税～



森林の保全・整備や湖沼などの水質保全のための財源として、森林湖沼環境税が導入されて3年目になります。この税を有効に活用して、間伐などの森林整備や下水道、高度処理型浄化槽の整備促進などによる湖沼・河川の浄化が進んでいます。森林湖沼環境税で実施されている事業を通して、森林や湖沼の大切さについて改めて考えてみませんか。

詳しくは 茨城県森林湖沼環境税 検索

森林湖沼環境税を利用した取り組み

森林の保全・整備

適正な森林整備の推進

- 間伐 ●平地林・里山林の整備 ●森林整備の作業効率向上
- 県産材の流通・加工体制の整備

木づかい運動の推進(県産材の利用拡大)

- 県産材の需要拡大を目的とした新築木造住宅への支援
- 公共施設の木造化・木質化

県民協働による森林づくりの推進

- 市民団体の活動に対する支援 ●森林環境教育の推進

取り組みによる効果(平成21年度)

- 炭素吸収効果 2,528トン/年
- 平均的な家庭における二酸化炭素の年間排出量の約1,730世帯分に相当

湖沼・河川の水質保全

生活排水などの汚濁負荷量の削減

- 窒素、りんを除去できる高度処理型浄化槽の設置促進
- 下水道などへの接続促進 ●工場・事業場からの排水対策
- 家畜排せつ物対策

農地からの流出水への新たな対策

- 農地からの排水の循環利用 ●休耕田を利用した窒素の除去

県民参加による水質保全活動の推進

- 市民団体の活動に対する支援 ●湖上体験学習の推進

取り組みによる効果(平成21年度)

- 汚濁負荷削減量(COD) 61トン/年
- 平均的な家庭における生活排水の年間汚濁排出量の約1,900世帯分に相当

森林湖沼環境税 Q&A

Q1 誰がどのように納めるの?

A1 茨城県内に住所等がある個人や、事務所等がある法人が県民税均等割とあわせて納める仕組みです。

納める人	茨城県内に住所等がある個人*	茨城県内に事務所等がある法人
納める額	1,000円/年	県民税均等割額の10%/年
納める方法	県民税とあわせて納付	
納める期間	平成20年度から平成24年度までの5年間	

*県民税均等割を納める人と同じです。次の方は、県民税均等割が課税されないため、森林湖沼環境税も課税されません。①生活保護法による生活扶助を受けている方 ②前年中の合計所得金額が市町村条例で定める金額以下の方 ③前年中の合計所得金額が125万円以下の障害者、未成年者、寡婦・寡夫の方

Q2 なぜ導入したの?

A2 森林や霞ヶ浦などの湖沼・河川を県民みんなで守り、これらの自然環境が持つ大切なはたらき(公益的機能)を、十分発揮できるようにするためです。

森林のはたらき

- ◎水源かん養(水を蓄える)
- ◎山くずれや土砂の流出の防止
- ◎二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止 など

湖沼・河川のはたらき

- ◎水道用水、工業用水、農業用水などの水資源
- ◎水産資源の育成 など

Q3 納められたお金はどのように使われるの?

A3 1年間の収入は約16億円になります。この収入は、他の収入と区別するため全額を「茨城県森林湖沼環境基金」に積み立て、森林の保全・整備や霞ヶ浦などの湖沼・河川の水質保全のための取り組みに活用します。(左記参照)

税のしくみに関するお問い合わせ 県税務課 029(301)2418 2448



間伐の様子

一口コラム

椎茸の原木栽培

茨城県では、椎茸の原木栽培が盛んです。今年6月に行われた全国規模の乾椎茸品評会において、常陸大宮市の生産者が農林水産大臣賞等を受賞するなど、全国的にも高い評価を受けています。味覚の秋を迎える時期、茨城産の椎茸を召し上がってみませんか。

県林政課 029(301)4021 4039

茨城県の森林は、県土面積の約三分の一を占めています。しかし、林業に携わる人びとの減少や、高齢化などにより、手入れの行き届かない森林が増えているのが現状です。このような状況が続くと、森林の持つ働きが十分に発揮できなくなることから、森林湖沼環境税を活用し、森林の保全・整備に取り組んでいます。

その一つである「森林機能緊急回復整備事業」は、緊急に間伐を行う必要がある荒廃した森林のうち、水を蓄える(水源かん養)機能、または山くずれや土砂の流出を防ぐ(山地災害防止)機能が高い森林の間伐に対する補助を行うものです。

大子町森林組合では、平成二十年度から森林湖沼環境税による間伐を積極的に行っています。同組合の星野利光さんは「これまで手入れができなかった森林の間伐ができるようになり、毎年約二百四十ヘクタール

豊かな森林を育てよう

(東京ドーム約五十個分)の間伐をしています」と話してくれました。

さらに、なぜ間伐が必要なのかを伺うと、「間伐を行うことで、幹が太く枝葉がしっかりとした木が育ち、良質な木材を生産できます。また、間伐により森林に光が入り、植物が育ち、豊かな生態系が形成されます。森林の土壌が健全に保たれれば、雨水の浸透量や保水量も多くなり、水源かん養機能も維持できるのです。また、地球温暖化防止の面でも、森林が二酸化炭素を吸収する機能が一番高いのは三十年から四十年育った木なので、そこまで成長させるには間伐が必要なのです」ということでした。

間伐をした森林は、木々が大地にしっかりと根を張って、すくすくと空に向かって伸びていました。



手入れされた森林を説明する星野さん